



REPORT 2021

第一勧信レポート

MINI DISCLOSURE

地域とのふれあいを大切にし、皆さまの幸せに貢献いたします。

DKC 第一勧業信用組合

<https://www.daiichikanshin.com/>

発行 第一勧業信用組合 経営企画部
年月 2021年 6月
住所 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-13
電話 03-3358-0811

DKC 第一勧業信用組合

はじめに

当組合の活動につきましては、平素より皆さまのご愛顧を賜りまして、誠にありがとうございます。ごぞいます。

昨年来コロナ禍による生活や経済活動の混乱、そして先行き不透明な状況が続いております。ワクチン接種が始まったこと、治療薬の開発も進むであろうことから、コロナ禍も早晚収束に向かうことにはなりましようが、収束後もコロナ禍前には戻らず、働き方、生活様式を含めて新しい環境になるということを十分認識しておく必要があるでしょう。

皆さまにおかれましても、ご苦労が耐えないことと思いますが、当組合も「コロナなかりせば倒れないであろう先は、一社たりとも倒させない」との信念のもと、全力で組合員の皆さまのご支援にあたっております。①応急の資金繰り支援、②販売協力等の本業支援、これは人間の傷病に例えますと、それぞれ止血・輸血や治療となりましようが、それらはもちろんのこと、これからはさらに、③新しい環境、時代のニーズに即したビジネスモデルへの変換=体質改善を行っていくことも必要であり、当組合も伴走して後押しさせていただく所存であります。

このような局面で組合員皆さまにお役に立つためには、日頃から培っている組合員、地域、あるいは連携先の皆さまとの信頼の絆を基に、組合員の皆さまの事業、状況をよく理解し、当組合に組織的に蓄積された知見を駆使し、また、様々な情報へのアンテナを張り、連携先とのネットワーク等を活用して、情報・事業等を結び付けていく総合力が重要であると考えています。まさに、当組合が基本方針として掲げております、「人とコミュニティの金融」、「ともに成長する金融」、「志、そして実りある連携」への取り組みが今こそ生きる時であり、地域・コミュニティの金融機関としての真価が問われているものと受け止めております。

当組合は、皆さまとともにこの多難な時代を乗り越えるべく、真に皆さまのお役に立てますよう、倍旧の努力をしております。



理事長
野村 勉

目次

はじめに	1	「志の連携」で社会に貢献します	7,8
経営理念・中期経営計画	2	決算の状況	9,10
「人とコミュニティの金融」を実践します	3,4	預金・積金の状況	11
「ともに成長する金融」で地域・社会の未来を創造します	5	貸出金の状況	11,12
かんしん「SDGs宣言」	6	普通出資金・組合員数の状況	12
		営業店舗一覧	13,14

経営理念・中期経営計画

幸せな未来へ 皆さまとともに

目指すべき姿

地域・コミュニティの金融機関としての使命を抱き、
永続的なコミュニティ金融機関へ

経営理念

地域とのふれあいを大切にし、皆さまの幸せに貢献いたします

スローガン

地域・社会の永続的な発展に貢献する信用組合にします

中期経営計画

■ 実施期間：2020年4月～2023年3月(3ヶ年計画)

■ 愛称：「幸せな未来へ 皆さまとともに」

基本方針

I. 「人とコミュニティの金融」を実践します

- 地域の皆さま、コミュニティとの絆(きずな)を大切にし、人と人との信頼に基づく金融を実践します
- お客さまに寄り添い、資産形成に貢献します

II. 「ともに成長する金融」で地域・社会の未来を創造します

- 挑戦する経営者を応援し、地域・社会の未来を創造します
- 地域・社会における問題解決に取組み、その成長を支援します

III. 「志の連携」で社会に貢献します

- 開かれた金融機関として、全国の金融機関や志のある方々との連携により、地域の発展に貢献します
- 教育機関や各種専門団体との連携により、組合員皆さまの課題を解決します

「人とコミュニティの金融」を実践します

- 地域の皆さま、コミュニティとの絆（きずな）を大切にし、人と人との信頼に基づく金融を実践します
- お客さまに寄り添い、資産形成に貢献します

第一勧信は地域のイベントに積極的に参加します

当組合は地域の一員として地域の発展に貢献することを経営理念に掲げ、金融業務を通じた地域貢献はもとより、お客さまが開催されるイベント等に積極的に参加します。

これにより、お客さまとの「Face to Face」の繋がりを更に深いものとし、地域の発展に貢献します。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、接触型のイベントの開催、また地域行事への参加は自粛および見合わせいたしました。



「ふれ愛くらぶ」活動の充実

「ふれ愛くらぶ」は、当組合で年金をお受け取りいただいているお客さまで構成しております（入会・年会費は無料です）。お誕生日プレゼントの贈呈やお得な定期預金のご案内などの特典がございます。

かんしんビジネスクラブ



かんしんビジネスクラブは働く経営者のコミュニティであり、「一所懸命仕事に取り組む現役経営者」を応援することを目的として、2017年10月に発足しました。

第3期目（2019年10月～2020年9月）はセミナー・講演会を計5回開催（うち2回はZoom開催）させていただきました。

新型コロナウイルスへの対応

感染拡大防止への取り組み

- 店頭には消毒液を設置し、出入り口やロビー周り、窓口、ATMなど、手の触れる可能性のある箇所は、職員が小まめに消毒しております。また一定時間、窓や出入り口を開放し換気を行っております。
- 窓口では透明なアクリル板やビニールシートを設置、職員は常時マスクを着用し、感染拡大を抑制しております。
- 密を避けるため、会議や交流会などをZoomを利用しオンラインで開催しております。



資金繰り支援

- 新型コロナウイルス感染症の影響により資金繰りにお困りのお客さまの為に、専用窓口を各営業店に設置しております。当組合職員も誠意を持って対応し、これからもお客さまを支援してまいります。
- 東京都制度融資の新型コロナウイルス感染症対応緊急融資などのご案内や、当組合独自の新型コロナウイルス感染症専用コミュニティローン特別枠を新設し、お客さまの資金繰りに対応しております。
- 新型コロナウイルス感染症による、国や行政からの補助金や助成金に関する相談も受け付けております。

お客さまの本業支援

- 各営業店のロビーにて、地域のお客さまを応援するコーナーを設置し、地元商店街の商品やパンフレットなどを配置し来店客にご案内しております。
- コロナに負けるな!! 地域応援定期預金の販売（2020年9月末に終了）や、地域応援キャンペーンを実施。地元商店街のお客さまの商品を景品として使用いたしました。
- 購入型クラウドファンディング「MOTTAINAIもっと」に当組合のお客さまを紹介し売上に協力いたしました。
- 飲食や土産物購入について地域のお客さまのお店を利用。営業店によってはお客さま向けに、地元商店街の飲食店を巡るスタンプラリーなども企画しております。



「ともに成長する金融」で 地域・社会の未来を創造します

- 挑戦する経営者を応援し、地域・社会の未来を創造します
- 地域・社会における問題解決に取り組み、その成長を支援します

創業支援

当組合は、2015年度に創業支援室を新設し、起業家向けのファンド「かんしん未来ファンド」を設立（現在2ファンド目）、創業者向け貸出「かんしん未来ローン」を発売、事業意欲旺盛な若手・女性経営者の会「かんしん未来くらぶ」を設立し、創業支援に積極的に取り組んでまいりました。

創業者の皆さまに将来の地域コミュニティの担い手となっていただくべく、資金面のみならず、コンサルティング・ビジネスマッチング・資産形成など様々な面から伴走支援し、ともに成長できる創業支援の形を引き続き目指してまいります。



ソーシャルビジネス支援

当組合は、2018年9月に『かんしん「SDGs宣言」』を公表いたしました。SDGsの目標に「1.貧困をなくそう」や、「11.住み続けられる街づくりを」とあるように、ソーシャルビジネスを支援することはSDGs達成に向けた取り組みの1つと捉え積極的な支援をしております。

2018年8月: ソーシャルビジネス支援専用貸出商品「ソーシャルビジネス応援ローン」を開発
新宿ソーシャルネットワークへ参加

2018年9月: 公益財団法人パブリックリソース財団と連携協定を締結
日本政策金融公庫との協調融資商品「コラボ ソーシャルサポート」を創設
『かんしん「SDGs宣言」』を公表

2019年5月: 東京ソーシャルビジネス・アクセラレータープログラムを実施

2020年10月: 地域課題応援定期預金「かんしん子供応援定期預金」の販売（2021年3月末に終了）

かんしん「SDGs宣言」

第一勧業信用組合は、
SDGs（持続可能な開発目標）を経営方針の中核とし、
具体的な取り組みを通じて地域社会の持続的成長に
努めていくことを宣言いたします。

SDGsの目標項目に対する具体的な取り組み

<p>1 貧困をなくそう ・新宿ソーシャルネットワークへの加盟 ・(公財)パブリックリソース財団との連携 ・お客さまの資産形成支援</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう ・専門機関(公的機関、土業団体等)や大学等との連携による事業創出 ・創業支援融資、かんしん未来ファンド、地域クラウド交流会*</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を ・多様性のある働き方推進(フレックスタイム導入、テレワーク等) ・ダイバーシティの推進 ・障がい者雇用の推進</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを ・コミュニティローン ・社会的課題の解決(ソーシャルビジネス支援) ・地域イベントの参加(年間500件以上) ・地域で清掃活動、防災活動、防犯活動等を実施</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに ・「子供応援定期預金」による地元小学校への寄付 ・相談員認定制度の導入 ・かんしん未来ゼミ活動 ・かんしんビジネスくらぶ</p>	<p>12 つくる責任つかう責任 ・頒布品用ビニール袋の配布を原則廃止</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう ・女性活躍の推進 ・ダイバーシティの推進 ・在日外国人の支援(金融サービス・就労支援等)</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を ・全店的な節電運動と再生エネルギーの利用推進</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・全店的な節電運動と再生エネルギーの利用推進 ・太陽光発電設備資金の対応</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう ・頒布品用ビニール袋の配布を原則廃止</p>
<p>8 働きがいも経済成長も ・ともに成長する金融(本業支援、ビジネスモデル変革支援、創業支援、ソーシャルビジネス支援) ・コミュニティローン ・お客さまの資産形成支援 ・多様性のある働き方推進(フレックスタイム導入、テレワーク等)</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう ・志の連携(全国の信用組合、地域金融機関、地方行政、公的機関、土業団体、大学、一般会社等) ・GABV(利益よりも価値を大切にす金融機関の国際的組織)への加盟 ・JPBV(GABVの理念「価値を大切にす金融」を日本で共有・実践する会)の推進</p>

(2020年10月現在)



SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、
「持続可能な開発目標(SDGs)」が2015年9月の国連サミットにおいて採択されました。
2030年を年限とする17の国際目標が定められております。

「志の連携」で社会に貢献します

開かれた金融機関として、全国の金融機関や志のある方々との連携により、地域の発展に貢献します

教育機関や各種専門団体との連携により、組合員皆さまの課題を解決します

連携企画推進部

連携が進み且つその内容も多様化してきたことから、2020年1月に従来の地方創生部と連携企画部を、連携企画推進部として統合しました。全国の金融機関や志のある方々と連携して共に取り組むことで、組合員の皆さまや連携先の地域に新しい価値を提供することを目指しています。

現在、地方との連携協定は42金融機関、12行政へと広がり「地方と東京を結ぶ組合」として地域間の資金循環に取り組んでいます。(2021年3月31日現在)一例として、当組合の組合員の方が地方に進出する際に連携先にサポートいただいたり、連携先のお客さまが東京に進出する際の地方物産品の販売ルートのご紹介等のビジネスマッチングにも取り組んでいます。今後も連携内容の充実を図り、組合員の皆さまの幸せ・地域社会の発展に取り組んでまいります。

ライフステージに応じた資金支援とソリューション提供

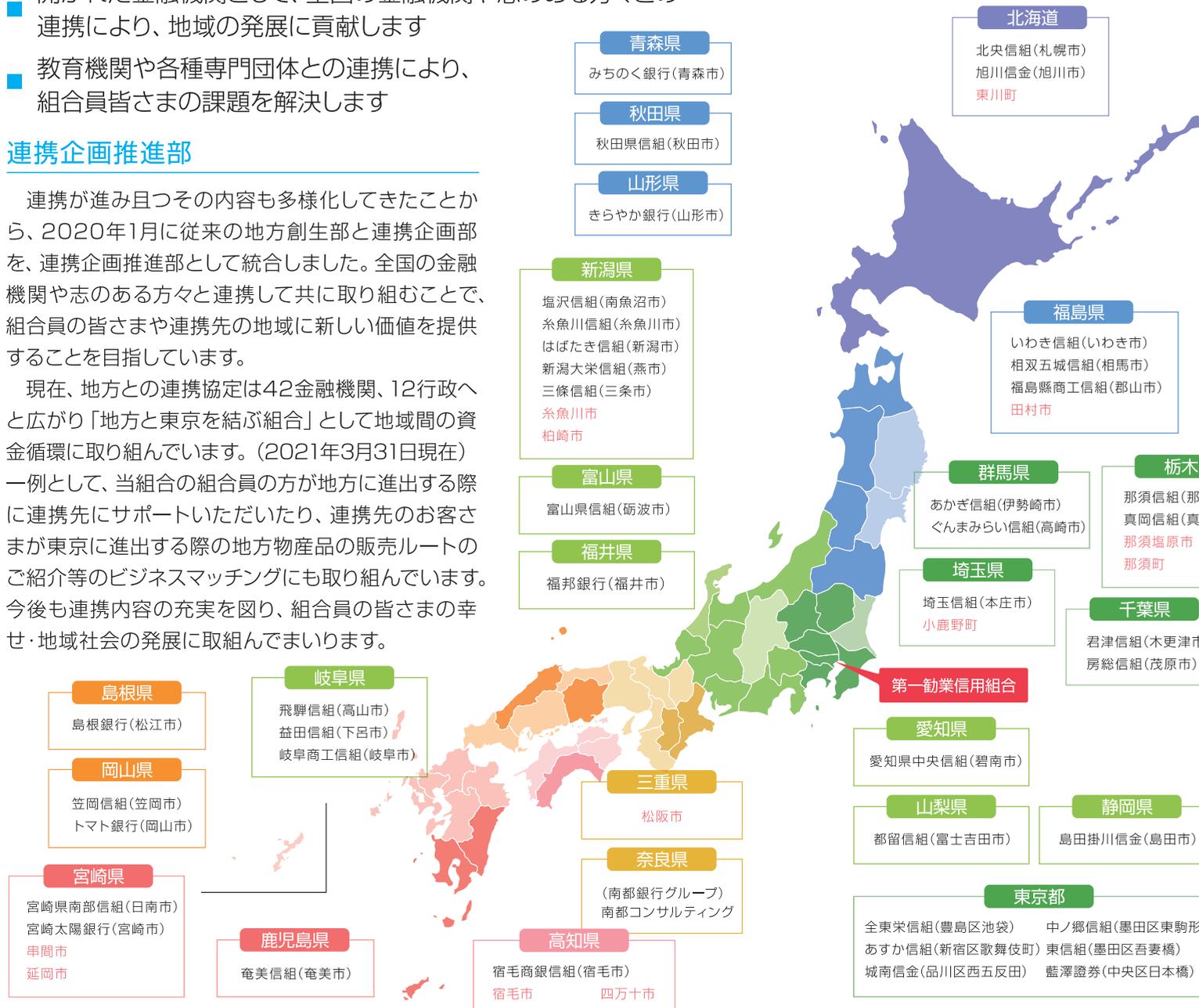
当組合は、地域・コミュニティに根差した「Face to Face」での本音の付き合いをベースに創業支援から事業成長・成熟期あるいは撤退・廃業・事業承継といったお客さまのライフステージに応じた的確な資金支援および課題解決へのソリューション提供を実践してまいります。

そのためにお客さまの事業性を正しく把握する目利き力や財務上最適な資金調達を指南する分析・アドバイスを養うとともに、お客さまの販路開拓・人材不足・事業承継といった様々な経営課題に少し

でも有効なソリューション提供ができるよう、税務・法務など士業の専門家や各業界・各地区の有力者、関係省庁サポーターなどと数多く繋がり、連携ネットワークを活かして、スピーディーにサポートを進めてまいります。

大学ほか各種団体との連携

- 東京理科大学 ● 大正大学 ● 文教大学 ● 近畿大学
- 多摩大学社会的投資研究所
- 東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社
- 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社
- 日本政策金融公庫
- 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部
- 独立行政法人 住宅金融支援機構
- 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
- 東京税理士会
- 東京都行政書士会
- 日本公認会計士協会東京会
- 東京3弁護士会 (東京・第一・第二)
- 一般社団法人 東京都中小企業診断士協会



決算の状況

2020年度の決算は 預金、貸出金ともに前年度を上回りました。

当組合は、「地域とのふれあいを大切に、皆さまの幸せに貢献いたします」を経営理念として、お客さまからの相談に全力で対応してまいりました。

2021年3月末の総預金残高は、前年度を270億円上回る3,513億円となり、総貸出金残高は、2,767億円と前年度を198億円上回る結果となりました。

損益につきましても、おかげさまで8億円の当期純利益を確保できました。この結果、2021年3月末の自己資本比率は8.66%と前年度末を0.66%上回り、引き続き国内基準4%を上回る健全な水準を維持しております。

■ 自己資本比率

一般的に企業が総資産に対して自分自身のお金をどの程度保有しているかを示す指標で、比率が高いほど安全性が高いといえます。信用組合の場合、出資金などの自己資本額を貸出金などの資産にリスクウェイトで調整したリスクアセット等で割って算出します。

当組合の決算状況（主要経営指標）

（単位：百万円）

利益および自己資本額	2018年度	2019年度	2020年度
経常収益	6,323	6,144	6,403
実質業務純益	660	871	1,053
経常利益	743	366	803
当期純利益	739	422	825
自己資本額	17,587	17,926	19,760

（単位：%）

諸比率	2018年度	2019年度	2020年度
自己資本比率	7.84	8.00	8.66
ROA（総資産業務純益率）	0.16	0.21	0.23
OHR（業務粗利益経費率）	87.79	84.08	81.15

（単位：億円）

残 高	2018年度	2019年度	2020年度
預金積金残高	3,195	3,243	3,513
貸出金残高	2,561	2,569	2,767
有価証券残高	69	62	67
総資産残高	4,035	4,087	4,472
純資産残高	166	175	196
リスク管理債権残高	108	100	149

（単位：人）

職員数	2018年度	2019年度	2020年度
	375	370	380

預金・積立・貸出金

預金・積金の状況

2020年度末の預金残高全体は3,513億円となりました。

直近3カ年の状況

(単位:億円)

	2018年度末	2019年度末	2020年度末
預金	3,195	3,243	3,513

預金者別残高の状況

(単位:億円/%)

	2019年度末		2020年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
個人	2,504	77.2	2,554	72.7
法人	738	22.7	958	27.2
一般法人	708	21.8	930	26.4
金融機関	0	0.0	0	0.0
公金	28	0.8	27	0.7
合計	3,243	100.0	3,513	100.0

貸出金の状況

2020年度末の貸出金残高全体は2,767億円となりました。

地域の中小企業や個人の皆さまのニーズに幅広くお応えし、
2020年度末の貸出金残高全体につきましては198億円の増加となりました。

直近3カ年の状況

(単位:億円)

	2018年度末	2019年度末	2020年度末
貸出金	2,561	2,569	2,767
住宅ローン	594	557	519

普通出資金・組合員数

業種別貸出残高の状況

(単位:億円/%)

	2019年度末		2020年度末	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)
製造業	91	3.5	105	3.7
建設業	85	3.3	93	3.3
情報通信業	33	1.3	48	1.7
運輸業、郵便業	15	0.5	23	0.8
卸売業、小売業	171	6.6	195	7.0
不動産業	1,118	43.5	1,166	42.1
不動産取引業 ※	431	16.7	440	15.8
学術研究、専門・技術サービス業	29	1.1	45	1.6
宿泊業	38	1.4	43	1.5
飲食業	74	2.9	123	4.4
生活関連サービス業、娯楽業	46	1.8	72	2.6
その他の業種	111	4.3	144	5.2
個人	751	29.2	705	25.4
合計	2,569	100.0	2,767	100.0

※不動産取引業とは、不動産売買および不動産仲介を主な業務とし、不動産賃貸業および住宅建設業とは異なります。

(*)2020年度の不良債権比率は前年度比1.48%増加しました。(単位:億円/%)

	2019年度末	2020年度末
不良債権残高	101	150
不良債権比率	3.93%	5.41%

普通出資金・組合員数の状況

当組合は多くの組合員の皆さまに支えられています。

2020年度末につきましては、組合員数は60名増加し、普通出資金では1,355百万円増加いたしました。

当組合は引き続き多くの組合員の皆さまに支えられています。

直近3カ年の状況

(単位:百万円、人)

	2018年度末	2019年度末	2020年度末
普通出資金	7,009	7,632	8,987
組合員数	44,474	44,139	44,199

都内に充実のネットワーク。お近くの第一勧信まで、お気軽にどうぞ。



【支店・出張所】

青戸支店	葛飾区青戸3-40-3 (京成青砥駅入口バス停そば)	TEL03-3602-1171(代)
秋葉原支店	千代田区外神田3-6-4 (妻恋坂交差点そば)	TEL03-3253-4801(代)
鶯谷支店	台東区根岸3-13-2 (うぐいす通り沿い)	TEL03-3874-8621(代)
大森駅前支店	品川区南大井6-27-25 (JR大森駅東口広場前)	TEL03-3766-5321(代)
尾久支店	荒川区西尾久1-21-15 (小台通り)	TEL03-3893-7205(代)
神楽坂支店	新宿区神楽坂5-6 (神楽坂通り商店街)	TEL03-3269-3111(代)
神楽坂支店 東早稲田出張所	新宿区早稲田鶴巻町110 (鶴巻小学校前交差点そば)	TEL03-3232-4021(代)
亀有支店	葛飾区亀有3-20-8 (亀有駅南口亀有銀座商店街)	TEL03-3602-9161(代)
亀有支店 足立出張所	足立区東和2-15-3 (東和交番そば)	TEL03-3605-6141(代)
篠崎支店	江戸川区篠崎町7-21-12 (都営新宿線篠崎駅そば)	TEL03-3678-6991(代)
巣鴨支店	豊島区巣鴨2-4-2 (JR巣鴨駅北口)	TEL03-3918-0401(代)
墨田支店	墨田区石原4-24-5 (蔵前橋通り石原四丁目)	TEL03-3624-6241(代)
千駄ヶ谷支店	渋谷区千駄ヶ谷4-22-2 (千駄ヶ谷大通り商店街)	TEL03-3497-9371(代)
千田町支店	江東区千田5-9 (四ツ目通り千田バス停そば)	TEL03-3615-6381(代)
中野新橋支店	中野区弥生町2-20-2 (弥生町二丁目交差点そば)	TEL03-3372-2121(代)
羽田支店	大田区南蒲田3-3-17 (環八通り靴谷駅前交差点そば)	TEL03-3743-5351(代)
東浅草支店	台東区今戸2-15-4 (今戸バス停前)	TEL03-3876-0241(代)
東銀座支店	中央区銀座6-14-8 (東京メトロ東銀座駅昭和通り沿い)	TEL03-3543-6921(代)
東十条支店	北区東十条3-13-10 (東十条商店街通り)	TEL03-3913-7151(代)
本店営業部	新宿区四谷2-13 (四谷三丁目交差点新宿通り東寄り)	TEL03-3359-3781(代)
本店営業部 抜弁天出張所	新宿区若松町16-1 (抜弁天バス停前)	TEL03-6265-9351(代)
水元支店	葛飾区水元3-22-26 (水元中央通り)	TEL03-3627-5931(代)
向島支店	墨田区向島3-16-4 (向島二丁目交差点そば)	TEL03-3624-5721(代)
目黒支店	品川区上大崎3-2-1 (JR目黒駅東口前)	TEL03-3445-0721(代)
目白支店	新宿区下落合3-12-18 (JR目白駅西側目白通り)	TEL03-3953-4411(代)
目白支店 要町出張所	豊島区要町2-13-10 (要町通り東京メトロ千川駅そば)	TEL03-3530-7411(代)

【法人営業所】

市川法人営業所	千葉県市川市八幡2-7-21 (千葉街道沿い市役所バス停そば)	TEL047-711-0162(代)
本 部	新宿区四谷2-13 (四谷三丁目交差点新宿通り東寄り)	TEL03-3358-0811(代)